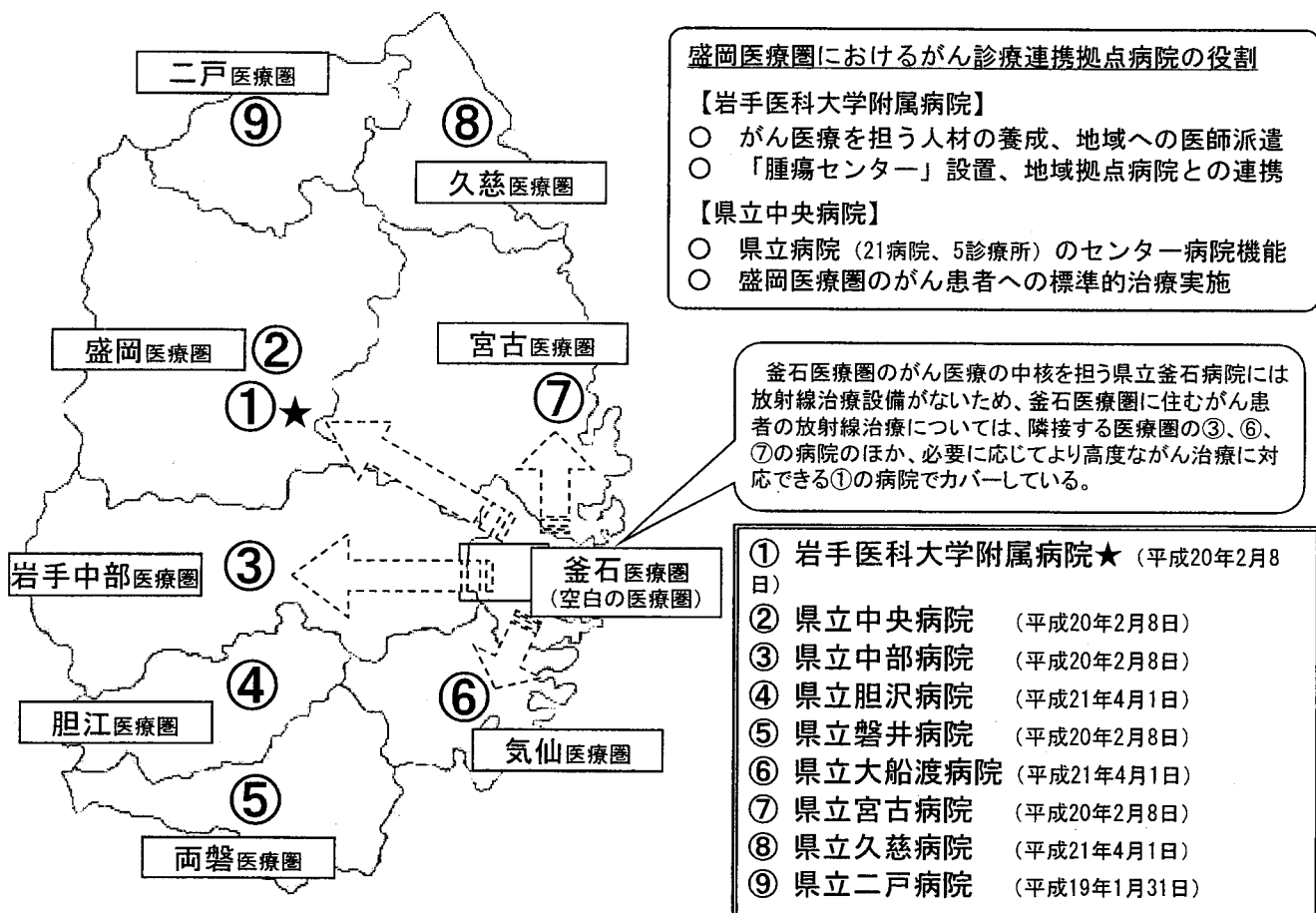


# 3 岩手県

-209-

## 岩手県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

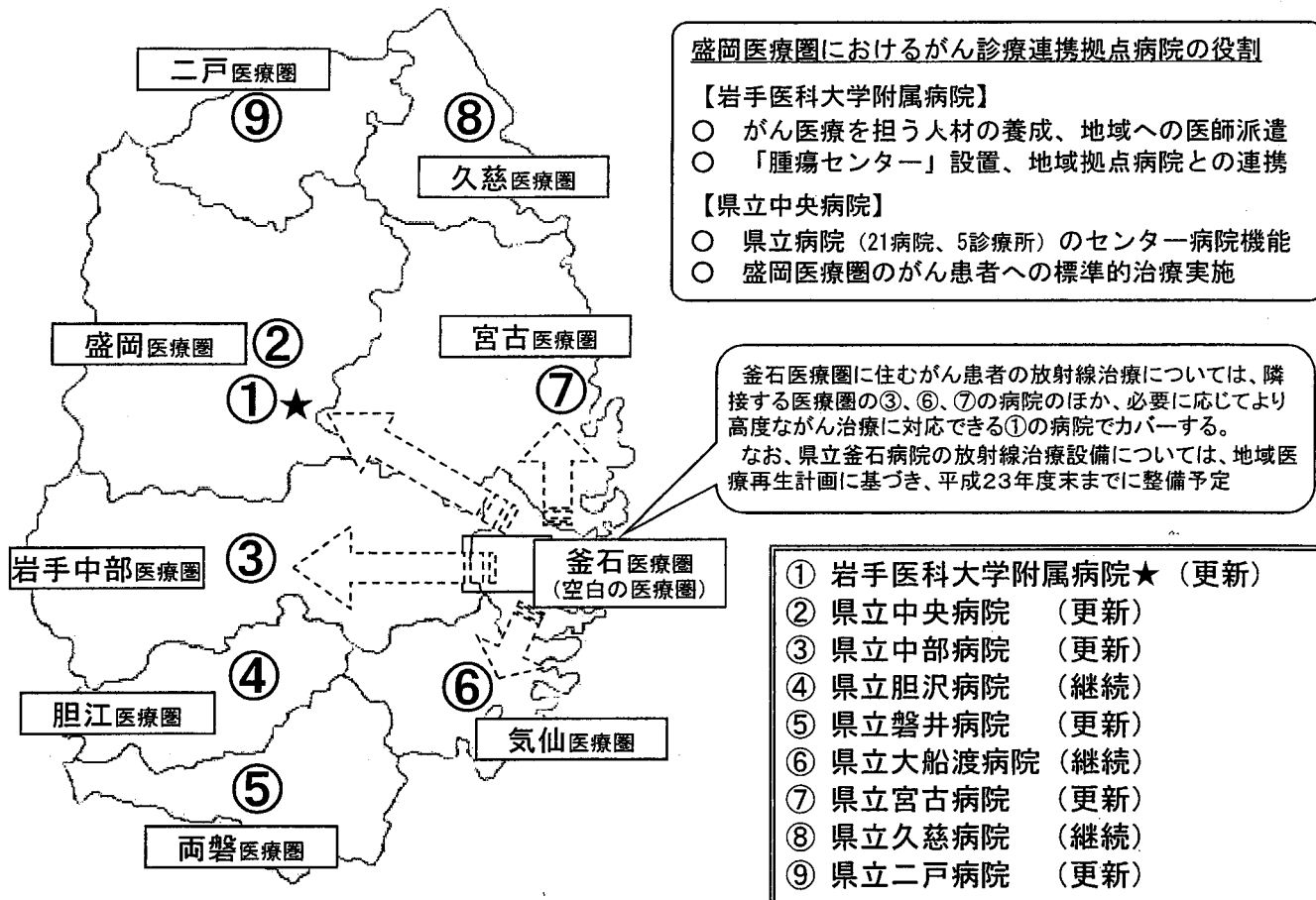
資料 1



-210-

県・地域	申請分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携	
			(年間新入院がん患者数)	年間新入院患者に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者数	小線源治療	薬物療法のべ患者数				
						開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	内視鏡手術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	後二期的に行うもの			乳房再建術(乳房切除)				対外照射
1	★更新	岩手医科大学附属	(3,978) 4,310	(26.0) 27.4	(207) 275	(0) 0	(4) 17	(10) 9	(2) 2	(8) 17	(0) 3	(14) 5	(22) 32	(0) 19	(559) 505	(103) 125	(295) 409	(362) 430	(19) 22	(73) 376	(1) 0	
2	更新	県立中央	(3,471) 3,453	(21.2) 21.7	(164) 201	(20) 6	(6) 14	(17) 27	(2) 13	(28) 37	(2) 3	(1) 3	(29) 31	(0) 0	(489) 429	(1) 0	(122) 168	(256) 293	(35) 34	(446) 523	(0) 0	
3	更新	県立中部	(1,043) 1,161	(19.7) 21.7	(60) 110	(0) 1	(2) 4	(11) 7	(0) 0	(5) 20	(1) 2	(0) 2	(0) 10	(0) 0	(127) 143	(0) 0	(29) 104	(75) 188	(21) 30	(19) 30	(0) 0	
4	現況	県立胆沢	(530) 1,483	(8.0) 22.9	(108) 134	(0) 0	(8) 9	(4) 10	(0) 0	(13) 20	(2) 5	(1) 0	(15) 11	(0) 0	(584) 211	(0) 0	(112) 95	(222) 116	(1) 3	(120) 84	(0) 1	
5	更新	県立磐井	(1,956) 3,171	(26.5) 42.4	(75) 100	(0) 0	(0) 0	(8) 7	(1) 2	(11) 8	(0) 1	(2) 0	(0) 5	(3) 9	(0) 143	(0) 0	(60) 45	(87) 212	(4) 8	(165) 104	(0) 0	
6	現況	県立大船渡	(483) 968	(7.7) 14.5	(46) 58	(0) 0	(0) 0	(5) 8	(1) 0	(5) 12	(0) 0	(1) 4	(0) 3	(5) 1	(0) 82	(0) 0	(33) 28	(69) 75	(17) 16	(0) 13	(0) 0	
7	更新	県立宮古	(1,088) 1,168	(17.4) 19.2	(72) 31	(0) 0	(0) 0	(30) 2	(0) 1	(10) 5	(2) 4	(1) 0	(2) 4	(0) 0	(66) 79	(0) 0	(100) 108	(71) 111	(4) 5	(42) 70	(0) 2	
8	現況	県立久慈	(862) 732	(16.7) 15.4	(32) 29	(0) 0	(0) 1	(4) 1	(0) 1	(6) 1	(7) 1	(0) 0	(3) 1	(4) 4	(0) 41	(0) 0	(58) 19	(127) 69	(6) 4	(2) 4	(0) 0	
9	更新	県立二戸	(597) 622	(13.4) 14.7	(30) 26	(0) 0	(0) 0	(3) 6	(0) 0	(15) 12	(0) 0	(0) 0	(2) 0	(0) 1	(117) 74	(0) 0	(29) 48	(41) 33	(6) 15	(40) 55	(0) 0	

岩手県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



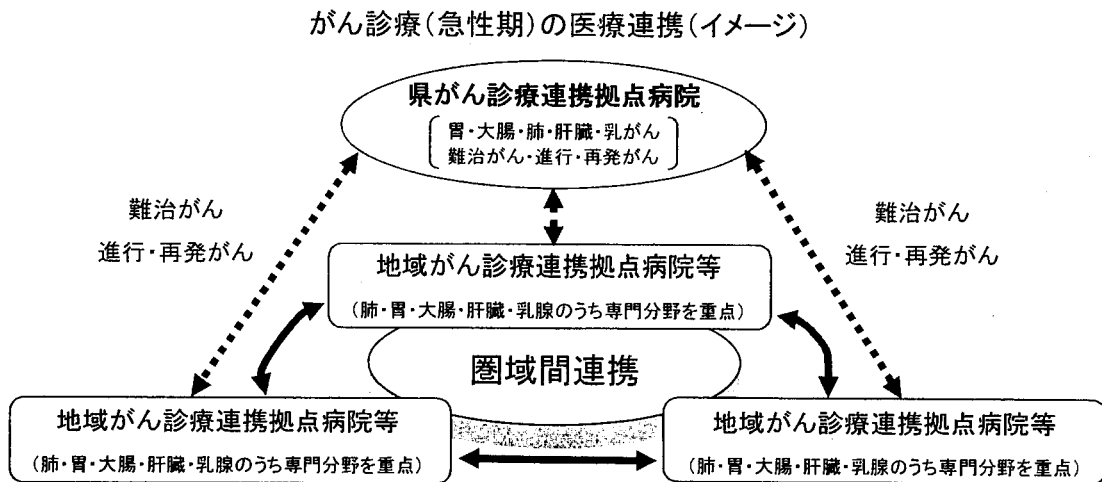
## 岩手県 がん診療連携拠点病院の整備方針

### ■ 基本的考え方

9 医療圏すべてに、地域がん診療連携拠点病院を整備（指定）することを推進

### ■ 県の支援の取組み

がん診療連携拠点病院の機能強化に係る支援のほか、岩手県医療計画を踏まえ、医療圏ごとに策定した医療連携プランに基づく地域医療連携の構築の取組みを推進



## 指定要件未充足事項の対応状況

病院名	未充足事項	平成21年9月1日 時点の状況	理由	対応状況
⑤ 県立磐井病院	院内クリティカルパス(別紙4)	胃がん、大腸がん、 肝がんについて 未整備	順次整備予定(肺がん、乳がんは整備済み)が、電子カルテ導入作業等で遅延	平成22年1月15日開催の院内クリニカルパス委員会で標準パスを決定し、翌日より運用を開始
⑥ 県立大船渡病院	我が国に多いがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制(別紙19)	肺がんについて 実績なし	対応可能な医師との調整の遅延	平成22年1月4日より対応。 ○面談実施医師の所属 = 呼吸器科 ○医師の専門性 = がん治療認定医機構 がん治療認定医
⑦ 県立宮古病院	当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を毎年定期的実施	未実施	日程調整の結果、研修開催時期を9月中旬に設定	平成21年9月12日～13日に「宮古地域緩和ケア医師研修会」を実施(修了者数20名)
	国立がんセンターがん対策情報センターによる研修を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ1人以上配置	未配置	11月開催の研修受講を計画	平成21年11月に所要の基礎研修を修了。現在、専従者として配置。
	国立がんセンターがん対策情報センターによる研修を修了した専任の相談支援に携わる者を配置	未配置	11月開催の研修受講を計画	平成21年11月に所要の基礎研修を修了。現在、専従者として配置。

# 4 宮 城 県

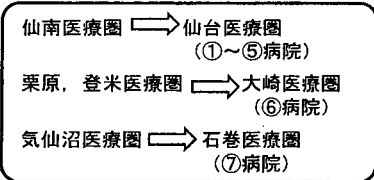
## 宮城県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

資料 1

### 【患者受療動向①】

(隣接医療圏の拠点病院によるカバー)

※ → で動向を表示



### 【患者受療動向②】

(仙台医療圏による全県のカバー)

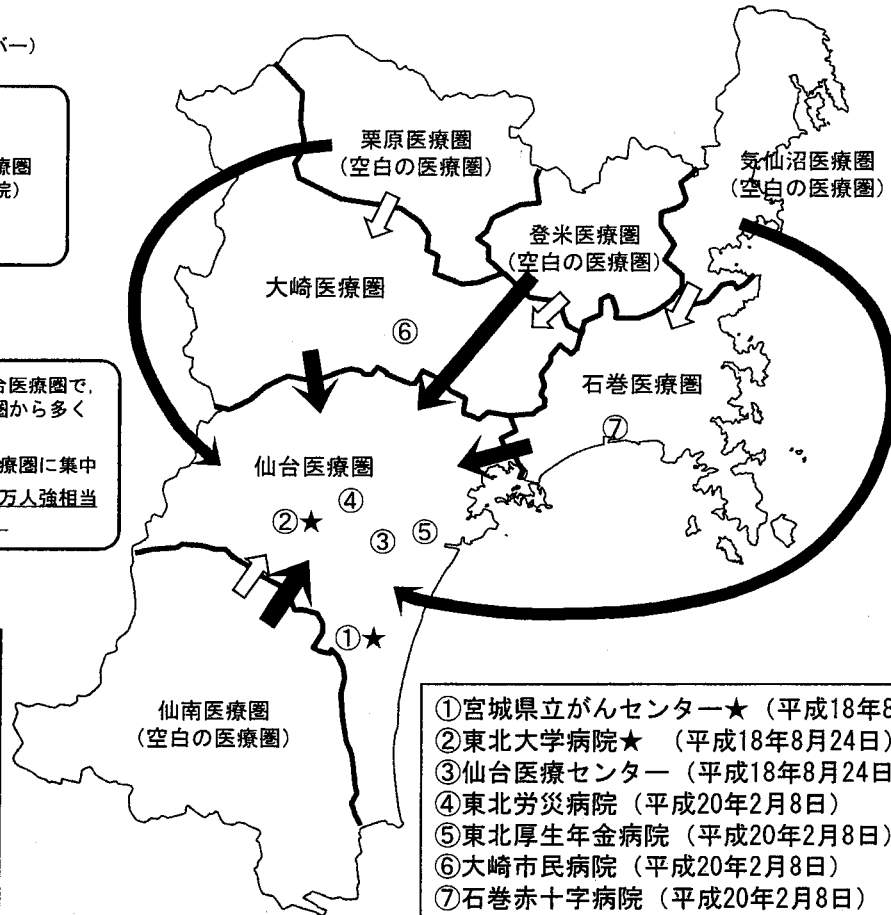
※ → で動向を表示

5つの拠点病院を中心とした仙台医療圏で、空白医療圏を含む県全域の医療圏から多くのがん患者を受け入れている。  
 \* 入院がん患者の約73%が仙台医療圏に集中  
 ⇒人口換算で、仙台医療圏が170万人強相当のがん医療の役割を担っている。

(参考)

入院がん患者の各医療圏から  
 仙台医療圏への依存割合

医療圏	仙台への依存割合	医療圏の人口(人)
仙南	54.5%	185,024
仙台		1,476,141
大崎	25.4%	212,001
栗原	39.0%	75,964
登米	39.1%	84,948
石巻	26.5%	214,425
気仙沼	15.4%	91,681
合計		2,340,184



- ①宮城県立がんセンター★ (平成18年8月24日)
- ②東北大学病院★ (平成18年8月24日)
- ③仙台医療センター (平成18年8月24日)
- ④東北労災病院 (平成20年2月8日)
- ⑤東北厚生年金病院 (平成20年2月8日)
- ⑥大崎市民病院 (平成20年2月8日)
- ⑦石巻赤十字病院 (平成20年2月8日)

宮城県 がん診療連携拠点病院指定推薦病院の診療実績等一覧

資料 2

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値

都道府県 or 地域	更新 or 地域	申請 or 区分	病院名	年間入院患者数の推移		治療件数(手術件数)0~7月の集計										放射線治療		薬物療法		緩和 or ケア or チーム or 連携 or 連携 or 連携	相談 or 支援 or センター or 相談 or 件数 or 6 or 7 or 月の or 集計	退院 or 時 or 共同 or 指 or 導 or 料 or 2 or 6 or 7 or 月の or 集計	
				年間 or 新 or 入院 or 患者 or 数 or (1 or 月 or ~ or 12 or 月)	年間 or 新 or 入院 or 患者 or 数 or に or 占 or める or 患者 or の or 割合 or (%)	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数 (1月~12月)		薬物療法の or べ患者数					
				悪性 or 腫瘍 or 手術 or 総数	開胸 or 手術	胸腔 or 鏡 or 下 or 手術	開腹 or 手術	内視 or 鏡 or 手術 or 粘 or 膜 or 切 or 除 or 術 (EMR)	開腹 or 手術	内視 or 鏡 or 手術	開腹 or 手術	ラジ or オ or 波 or 焼 or 灼 or 療法	乳癌 or 手術	乳房 or 再 or 建 or 術 (乳 or 房 or 切 or 除 or 後) or 二 or 期 or 的 or に or 行 or う or もの	体外 or 照射	小線 or 源 or 治療	入院 or 患者 or 数	外来 or 患者 or 数					
1	★	更新	宮城県立がんセンター	(4152) 4330	(87) 87.5	(158) 164	(0) 3	(7) 13	(17) 17	(5) 4	(8) 15	(2) 2	(0) 0	(0) 0	(22) 19	(0) 1	(615) 621	(9) 9	(230) 220	(93) 153	(14) 14	(689) 799	(0) 0
2	★	更新	東北大学病院	(4749) 5485	(26.2) 29.7	(88) 205	(4) 8	(8) 6	(3) 5	(1) 0	(12) 8	(1) 0	(9) 10	(0) 0	(13) 18	(0) 0	(1632) 1452	(79) 44	(357) 703	(434) 957	(10) 14	(211) 272	(11) 25
3		更新	仙台医療センター	(3053) 3474	(23.6) 26.0	(152) 226	(1) 0	(16) 15	(11) 15	(1) 2	(21) 34	(1) 0	(1) 8	(5) 7	(20) 18	(0) 0	(407) 420	(0) 0	(339) 185	(245) 131	(14) 17	(189) 166	(0) 13
4		更新	東北労災病院	(1922) 1807	(19.5) 18.4	(112) 115	(0) 0	(0) 3	(7) 7	(2) 2	(9) 11	(9) 4	(0) 0	(4) 0	(14) 11	(0) 0	(216) 265	(0) 0	(80) 88	(109) 163	(11) 7	(93) 53	(0) 0
5		更新	東北厚生年金病院	(1254) 1273	(16.4) 17.8	(47) 91	(0) 1	(8) 18	(7) 7	(3) 3	(6) 15	(0) 1	(1) 1	(0) 1	(1) 1	(0) 0	(84) 213	(0) 0	(43) 46	(60) 56	(6) 6	(17) 20	(0) 1
6		更新	大崎市民病院	(2296) 2183	(20.2) 18.7	(140) 139	(0) 1	(3) 3	(16) 14	(2) 2	(21) 19	(0) 2	(0) 1	(3) 1	(13) 13	(0) 0	(355) 385	(0) 0	(126) 157	(197) 389	(7) 19	(100) 143	(0) 0
7		更新	石巻赤十字病院	(2468) 2076	(24.9) 20.6	(117) 134	(4) 5	(10) 19	(2) 8	(0) 1	(2) 11	(2) 2	(1) 2	(2) 2	(23) 20	(0) 0	(206) 235	(0) 0	(124) 168	(380) 479	(28) 33	(99) 254	(1) 1

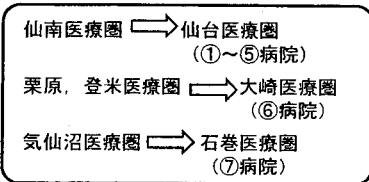
宮城県 平成22年度の指定推薦状況と想定される患者受療動向

資料 3

【患者受療動向①】

(隣接医療圏の拠点病院によるカバー)

※ → で動向を表示



【患者受療動向②】

(仙台医療圏による全県的カバー)

※ → で動向を表示

5つの拠点病院を中心とした仙台医療圏で、空白医療圏を含む県全域の医療圏から多くのがん患者を受け入れている。  
\* 入院がん患者の約73%が仙台医療圏に集中 ⇒ 人口換算で、仙台医療圏が170万人強相当のがん医療の役割を担っている。

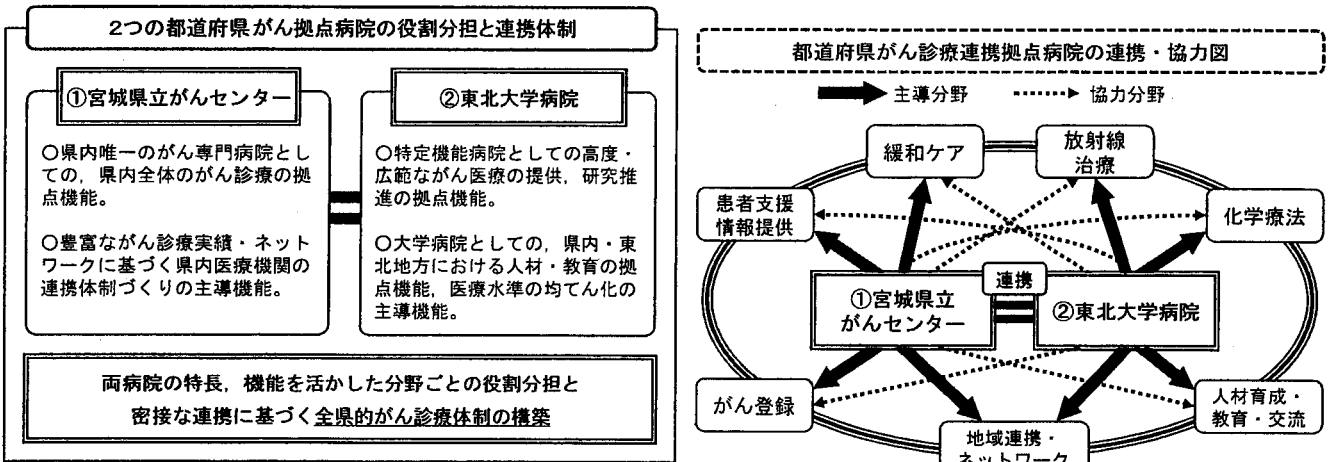
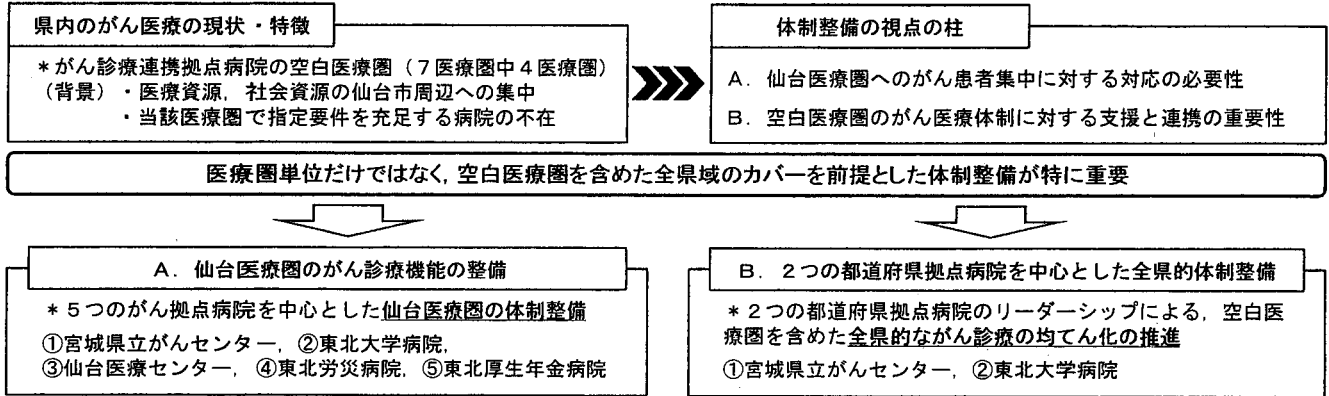
(参考)

入院がん患者の各医療圏から仙台医療圏への依存割合

医療圏	仙台への or 依存 or 割合	医療圏の or 人口 (人)
仙南	54.5%	185,024
仙台		1,476,141
大崎	25.4%	212,001
栗原	39.0%	75,964
登米	39.1%	84,948
石巻	26.5%	214,425
気仙沼	15.4%	91,681
合計		2,340,184



- ①宮城県立がんセンター★ (更新)
- ②東北大学病院★ (更新)
- ③仙台医療センター (更新)
- ④東北労災病院 (更新)
- ⑤東北厚生年金病院 (更新)
- ⑥大崎市民病院 (更新)
- ⑦石巻赤十字病院 (更新)



都道府県がん診療連携拠点病院を中心とした全県的がん診療体制の取組

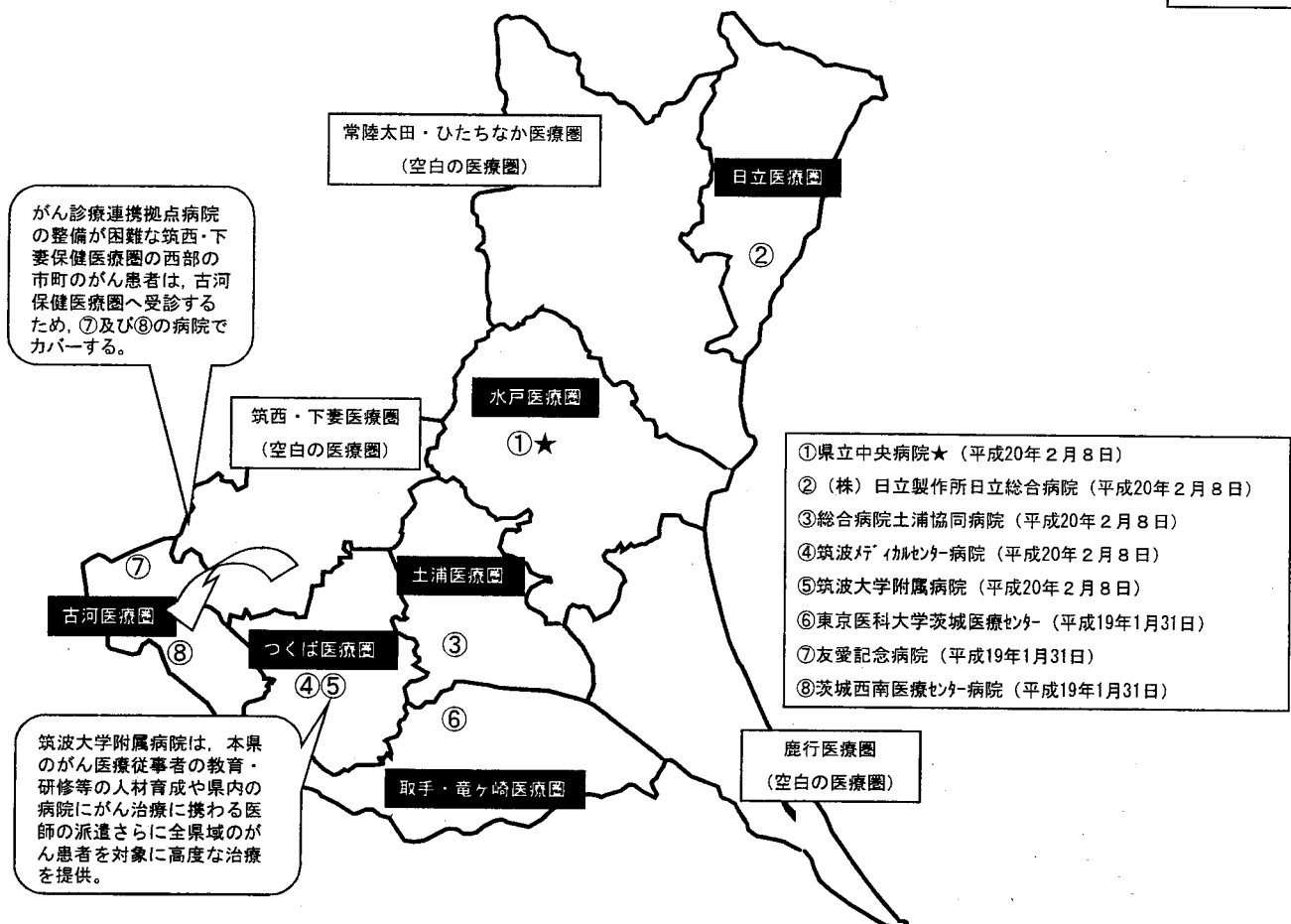
分野 ※【 】は主導病院	取組の考え方・方向性	これまでの取組状況
放射線治療 【東北大学】	◆東北大学病院の豊富な放射線治療実績、人材拠点機能を活用した放射線治療体制の整備。 ⇒県内、東北地方における放射線治療水準の均てん化。	○県内・東北地方における放射線治療医の派遣調整・人材交流 ⇒県内全拠点病院における放射線治療医の常勤化 ⇒県内を含む東北全体に対する治療専門医の派遣(5県14病院) ○県内・東北地方における標準プロトコールによる治療の推進
化学療法 【東北大学】	◆東北大学病院の豊富な化学療法実績、指導能力を活用した、化学療法レベルの向上のための指導、情報提供。 ⇒県内、東北地方における化学療法水準の均てん化。	○信頼度の高い標準プロトコールの公開・共有(76種類・HP公開) ○県内を含む東北全体の拠点病院等に対する指導・研修受け入れ ○東北地方の他大学の腫瘍内科講座開設、拠点病院に対する人材協力
人材育成・教育・交流 【東北大学】	◆東北大学病院の育成・教育機能、人材拠点機能を活用した、県内及び東北地方レベルでの人材確保の先導的役割。 ⇒がん医療における人材的な均てん化。	○東北がんプロフェッショナル養成プランの立ち上げ(H19～) (がん専門医、コメディカルスタッフの継続的養成) ○特に人材不足が深刻な放射線治療医、腫瘍内科医等の育成、派遣調整
緩和ケア 【県がんセンター】	◆県立がんセンターの豊富な緩和医療実績に基づいた、県内のすべての緩和ケア実施医療機関への指導体制の構築。 ◆宮城県在宅緩和ケア支援センター(県立がんセンター内)を中心とした「在宅緩和ケアネットワーク」の整備。 ⇒全県的な緩和医療水準の均てん化、ネットワーク構築。	○緩和ケア従事者・医療機関の全県ネットワークの構築。 (「宮城県緩和ケアチーム勉強会」(H20～)) ○多職種にわたる緩和ケア従事者への指導、実地研修の受け入れ ○在宅緩和ケアに関する全県施設調査の実施、情報共有。(H20, H21) ○地域ごとの在宅緩和ケア連絡会議、ネットワーク化(H19～)
患者支援・情報提供 【県がんセンター】	◆県立がんセンターの豊富な相談実績と拠点病院との協力を中心とした県下すべてのがん相談窓口ネットワークの構築。 ⇒患者支援・情報提供機能、地域連携の均てん化。	○3つの空白医療圏におけるがん相談窓口の開設(H20～) ○県内全体の「がん相談窓口連絡会議」の設立(14窓口)(H19～) ○県内のがん相談窓口における報告シートの統一(H21)⇒統一集計 ○県内の患者会等(10団体)のネットワーク構築(H20～) ○「みやぎのがん情報ポータルサイト」の開設(H21)
がん登録 【県がんセンター】	◆県立がんセンターの長年にわたる精度の高いがん登録実績、研究・分析機能を活用したがん登録の推進。 ⇒県内におけるがん登録の均てん化と精度向上。	○県全体の協力体制に基づく全国トップクラスの精度の地域がん登録 ⇒DCO割合ついて、概ね10%以内を毎年実現 ○医療機関への精度管理実地指導(年間15箇所程度)、新規導入支援 ○県内全体の「がん登録連絡会議」(16医療機関)(H19～)
地域連携・ネットワーク 【両病院連携】	◆全がん協施設と大学病院ネットワークの連携。 ⇒東北地方における広域がんネットワークの構築。 ◆県内のがん医療を主導する両病院のリーダーシップによる地域連携の推進。 ⇒県全体をカバーする連携体制の整備。	○東北がんネットワークの設立(H20～) ⇒患者相談専門委員会の主宰(県立がんセンター) ⇒化学療法専門委員会の主宰(東北大学病院) ○全県的地域連携クリティカルパスの作成(H20～H23) (※現在作成中。H21年度中に一部(胃・大腸)部位のパスを作成予定)

# 8 茨城県

-221-

茨城県 平成21年度4月1日現在の指定状況と患者受療動向

資料1

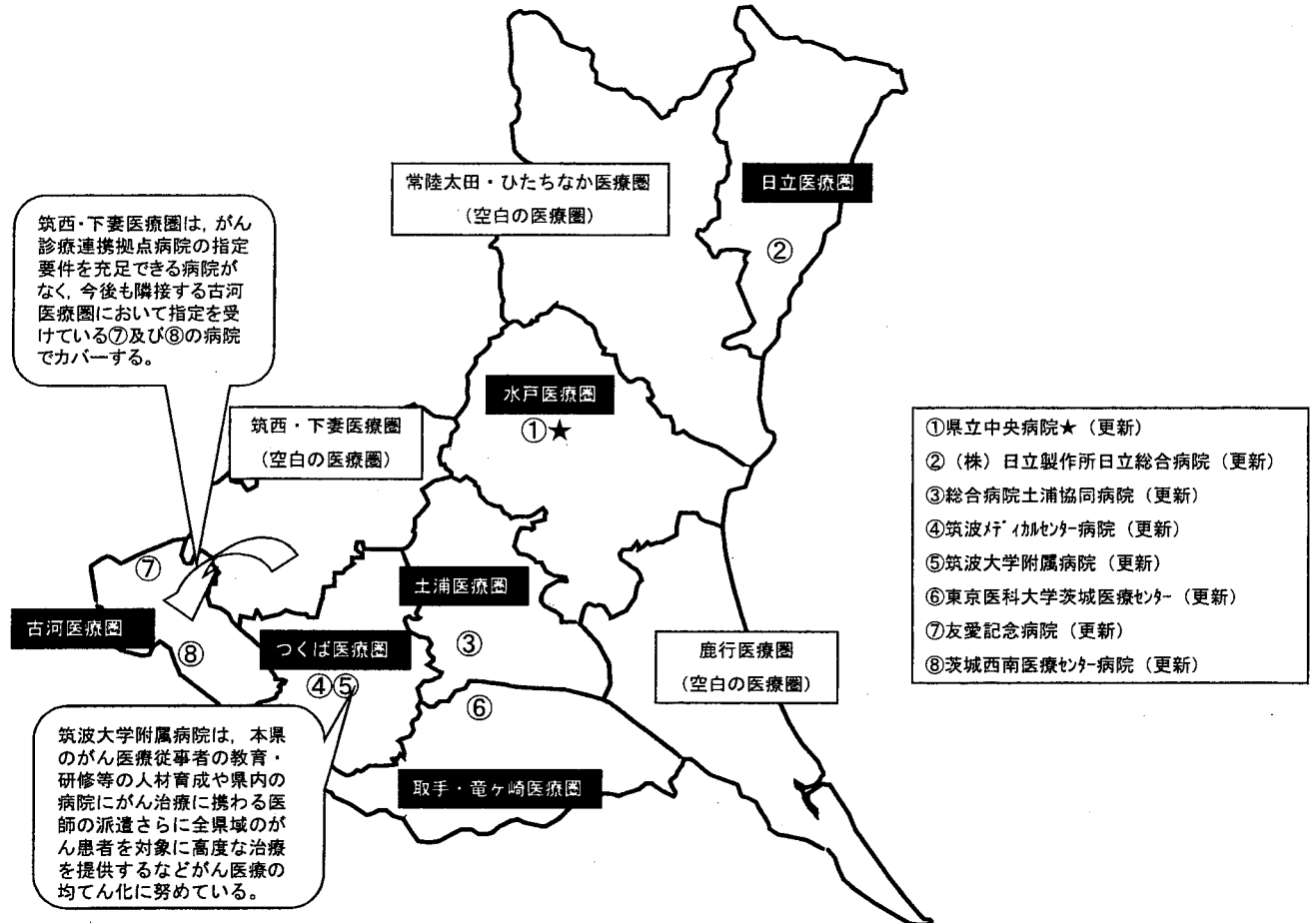


-222-

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数) 6~7月の集計										放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月 の集計)		緩和 ケア		相談 支援セ ンター		地域 連携	
			年間 新入 院患 者数 (1 月~ 12 月)	年間 新患 者占 める 割合 (%)	性 癌 手 術 総 数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チ ムに 対 する 新 規 診 療 依 頼 数 (6~ 7月 の 集 計)		相 談 支 援 セ ン ター 相 談 件 数 (6~ 7月 の 集 計)		退 院 共 指 導 2 (6 ~ 7 月 の 集 計)
						開胸 手術	胸腔 鏡手 術	開腹 手術	内視 鏡手 術粘 膜切 除術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に行 うもの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数	外来 患者 数	緩和 ケア チ ムに 対 する 新 規 診 療 依 頼 数 (6~ 7月 の 集 計)	相 談 支 援 セ ン ター 相 談 件 数 (6~ 7月 の 集 計)	退 院 共 指 導 2 (6 ~ 7 月 の 集 計)			
★	更新	茨城県立中央病院	(3,805)	(43.7)	(121)	(14)	(3)	(20)	(0)	(21)	(1)	(2)	(22)	(12)	(0)	(551)	(8)	(230)	(421)	(14)	(35)	(0)	(0)	
	更新	(株)日立製作所 日立総合病院	(2,433)	(24.3)	(151)	(21)	(19)	(3)	(2)	(22)	(0)	(5)	(20)	(16)	(0)	(330)	(10)	(191)	(169)	(8)	(186)	(0)	(0)	
	更新	総合病院土浦協 同病院	(3,001)	(17.2)	(137)	(5)	(8)	(6)	(0)	(8)	(1)	(1)	(5)	(13)	(0)	(305)	(12)	(173)	(238)	(12)	(326)	(0)	(0)	
	更新	筑波がんセンター 病院	(2,627)	(30.0)	(125)	(4)	(0)	(18)	(0)	(15)	(6)	(0)	(9)	(21)	(0)	(464)	(0)	(104)	(327)	(16)	(199)	(1)	(1)	
	更新	筑波大学附属病 院	(3,510)	(28.1)	(120)	(2)	(9)	(13)	(1)	(11)	(0)	(4)	(1)	(29)	(0)	(593)	(44)	(526)	(406)	(59)	(56)	(3)	(3)	
	更新	東京医科大学茨 城医療センター	(1,278)	(15.9)	(91)	(3)	(8)	(5)	(0)	(18)	(2)	(4)	(9)	(10)	(0)	(119)	(0)	(148)	(280)	(3)	(104)	(0)	(0)	
	更新	友愛記念病院	(1,433)	(23.0)	(81)	(0)	(0)	(9)	(8)	(12)	(4)	(0)	(0)	(5)	(0)	(173)	(0)	(66)	(338)	(15)	(36)	(0)	(0)	
	更新	茨城西南医療セ ンター病院	(997)	(14.0)	(62)	(3)	(7)	(9)	(0)	(19)	(0)	(0)	(0)	(7)	(0)	(0)	(0)	(46)	(59)	(16)	(181)	(0)	(0)	
			1,544	21.0	57	0	5	2	0	8	1	0	2	5	0	0	0	57	98	6	182	0	0	

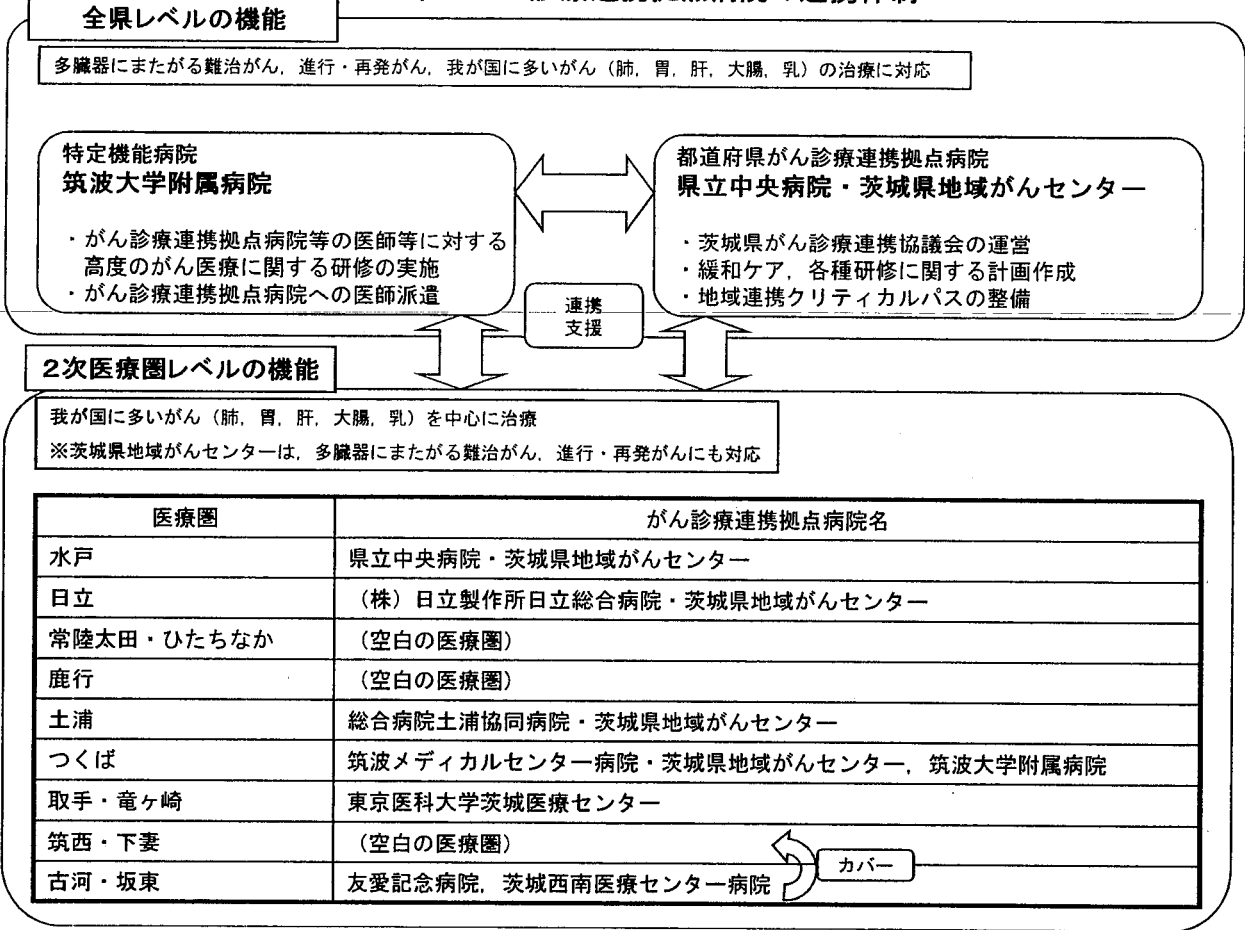
※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値

茨城県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向





茨城県のがん診療連携拠点病院の連携体制



茨城西南医療センター病院の放射線治療装置の未充足の理由・充足見込み年月等

**1 放射線治療装置の未充足の理由**

茨城西南医療センター病院では、放射線部、検査部の老朽化が著しく狭隘であったため、検査棟を改築する計画があった。新検査棟は地上3階、地下1階とし、地下に放射線治療装置（リニアック）を国の補助事業を活用し整備する予定であったが、耐震設計をやり直したこと等により着工が平成19年度から本年度に変更となった。

**2 放射線治療装置及び治療体制の充足見込み年月**

①放射線治療装置（リニアック）の整備

- 平成21年 8月24日：業者と売買契約締結
- 平成21年11月27日：放射線発生装置の使用許可申請（文科省）
- 平成22年 1月 8日：放射線発生装置の使用許可（文科省）
- 平成22年 3月：検査棟地下1階にリニアック設置。速やかに治療開始。

②放射線治療体制

- 放射線治療医は、筑波大学からの派遣が決定しており、専従で放射線治療に従事することとなっている。
- 放射線治療に携わる診療放射線技師は、常勤で専従として3名配置することとしている。内1名の技師は、放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証等に従事することとしている。